

第51回 大阪母性衛生学会学術集会・研修会プログラム

会 長 木村 正（大阪大学大学院医学系研究科 産科婦人科 教授）
学術集会長 町浦 美智子（大阪府立大学看護学部）

＜研修会＞

日 時：平成24年12月16日（日）10：00～12：00

場 所：大阪大学中之島センター（10階ホール）

テーマ：「お産に携わる人にもしてもらいたいこと

～乳児院について」

座 長：橋 大介 先生（大阪市立大学大学院医学研究科産科婦人科 講師）

演 者：「医療機関と乳児院の関わり

～医療ソーシャルワーカーの立場から～」

上原 玲 先生（愛染橋病院 医療福祉相談室）

「合併症妊婦への育児環境調査」

鷺森 かおる先生（大阪市立大学医学部附属病院 8東病棟師長兼産婦人科外来師長）

「乳児院の現状と課題」

末廣 豊 先生（大阪乳児院 院長）

「児童養護施設で暮らす子ども達」

中條 薫 先生（社会福祉法人児童養護施設 羽曳野荘 施設長）

＜ランチョンセミナー＞

日 時：平成24年12月16日（日）12：00～13：00

場 所：大阪大学中之島センター（10階ホール）

テーマ：「新しいワクチンを迎えてこれからの乳児ワクチンスケジュールをどうする？」

演 者：田尻 仁 先生（大阪府立急性期総合医療センター 小児科部長）

座 長：隅 清彰 先生（愛染橋病院 小児科部長）

ランチョンセミナーにて昼食を
ご用意しております。

＜学術集会＞

日 時：平成24年12月16日（日）13：30～16：00

場 所：大阪大学中之島センター10階ホール【第一会場】・7階セミナー室【第二会場】

参加費：2,000円（学生1,000円）

年会費：1,000円（学生500円）

（平成24年度大阪母性衛生学会に未入会の方は、年会費1,000円を別途申受けます）

後援：大阪府産婦人科医会、大阪府看護協会、大阪府助産師会、OGCS助産師会

〈学会場案内図〉



※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「**大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』**」とお伝えください。

◆電車によるアクセス

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分

阪神本線 福島駅より 徒歩約9分

JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分

JR環状線 福島駅より 徒歩約12分

地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。

10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

Time Schedule

	時刻	第1会場（10階ホール）		第2会場（7階セミナー室）	
研修会	10:00～10:05	会長挨拶			
	10:05～12:00	研修会			
	12:00～13:00	ランチオンセミナー			
学術集会	13:30～13:35	学術集会長挨拶			
	13:35～15:40	13:35～14:35	第1群(6題)	13:40～14:30	第3群(5題)
		14:40～15:40	第2群(6題)	14:40～15:30	第4群(5題)

〈学術集会〉

学術集会長：町浦 美智子（大阪府立大学 看護学部）

第一会場 ○が発表者

第一群（6題） 13:35～14:35

座長：宮川 祐三子（大阪府立母子保健総合医療センター）

妊娠中の母乳育児支援について

○高野縁・土居暁・内海美幸・京川香・矢野由美子・中村秋津・山本操江・今井明子・谷口武
（医療法人定生会 谷口病院）

医療職に従事する母親の母乳育児の継続に関する要因

○平侑貴恵・生田麻唯・上野友希恵・佳島みどり・坂本芙実・中田敦香・中木美喜子
（ベルランド看護助産専門学校 助産学科 20 回生）
秋田浩子・生駒妙香・田原町子（ベルランド看護助産専門学校）
岩原昭彦（和歌山県立医科大学）

早期皮膚接触に対する褥婦の気持ち調査と取り組みの評価

○杉山智江・屋良みやこ・作田美穂・内田智絵・吉田ヤヨイ
（国立病院機構独立行政法人 大阪南医療センター）

産科病棟スタッフの育児支援カンファレンス参加に向けて

－改善策による意識変化

○石川サユ里・藤岡明美（大阪府立急性期・総合医療センター）

産婦人科病棟での継続支援の取り組み 第2報

－2011年度の「要養育支援者情報提供票」の事例を分析して－

○上田たつえ・生野由美・三崎美保（産科病棟 助産師）・高下裕子・中辻潔（医療相談 MSW）
（大阪市立住吉市民病院 産婦人科病棟）

市町村からみた要支援児童等の援助に関する周産期医療への要望

○古山美穂・才村純（大阪府立大学）

第二群（6題）14：40～15：40

座長：関家 夫子（医療法人愛賛会 浜田病院）

妊婦健診時の指導後における妊婦の能動的行動と最関心事に関する研究

－母子保健教室参加妊婦の体重増加に関する指導内容に注視して－

○小山田浩子・玉上麻美（大阪市立大学大学院 看護学研究科）

○竹内利永子・堀陽子（大阪市立大学大学院看護学研究科 前期博士課程）

妊娠初期BMIと妊娠期間中の体重増加が妊娠の予後に及ぼす影響について

○岡利衣子・田所リエ・磯部高代・堤弘子・平野史代・我如古梓・三谷千佳子・金井万里子・村山眞治・金井宏之・青野敏博（医療法人 金井産婦人科）

妊娠38週以降分娩例での分娩前4週間の体重増減が陣痛発来時期に及ぼす影響について

○平石沙弥香・前田志野・永田貴子・北川美千代・春名雅子（愛染橋病院）

土屋さやか（大阪大学大学院博士後期課程）

産婦は分娩時間を予測しているか

○首藤妙子・川原純子・坂本信子・中野紀子・中川知子（聖バルナバ助産師学院94回生）

小笹幸子（聖バルナバ助産師学院）

入院中の妊婦へのマタニティダイアリー活用方法の再検討

○若林麻美・渡邊愛弓・浅野有咲・徳永明美・竹村秀雄（小阪産病院）

妊婦の安全な運転姿勢のためのWeb動画教材に対する評価

○中嶋有加里・山田加奈子・椿知恵・町浦美智子（大阪府立大学看護学部）

第三群 (5題) 13:40~14:30

座長：浅見 恵梨子 (千里金蘭大学)

流産・死産を経験した人へ退院後も必要とされるグリーフケア

ー患者会のアンケート結果から得られた患者や家族の思いー

○丹波千尋・岡崎由佳・太田絵里子・西野淳子

(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センター)

流産経験妊婦のマタニティマーク表示状況と胎児への声かけに関する研究

ー母子保健教室参加妊婦の質問紙調査からー

○堀陽子・竹内利永子 (大阪市立大学大学院看護学研究科 前期博士課程)

小山田浩子・玉上麻美 (大阪市立大学大学院 看護学研究科)

他府県から出生前診断を受けて OGCS 搬送されたケースの看護を振り返って

ー児を家族の一員として受け入れるまでの過程ー

○難波望・鈴野祐子・高野恵子 (関西医科大学附属枚方病院 NICU 病棟)

下肢むくみに対する MEDICAL CONDITION supporter®の有効性・安全性に関する研究

○木村敏啓・金川武司・木村正 (大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室)

おむつなし育児の認知と排泄の自立に対する看護学生の意識調査

○山中友理 (大阪府立大学 看護学部 4期生)

中嶋有加里 (大阪府立大学 看護学部)

第四群 (5題) 14:40~15:30

座長：高野 恵子 (関西医科大学附属枚方病院)

在日韓国・朝鮮人若者の性に関する調査

○椿知恵・町浦美智子・佐保美奈子・古山美穂・山田加奈子

(大阪府立大学 地域保健学域 看護学類)

学生と保護者が求める性教育

○山口幸恵・遠藤奈央美・奥いつか・小林ひとみ・栗林千幸・中村美紀・西田友香梨・野村良子
(ベルランド看護助産専門学校 助産学科 20 回生)

秋田浩子・生駒妙香・田原町子 (ベルランド看護助産専門学校)、岩原昭彦 (和歌山県立医科大学)

女性の妊娠・出産の計画性に影響する要因

○堂本千景・井上文乃・上田悦子・上道朱莉・坂本真梨奈（聖バルナバ助産師学院94回生）
小笹幸子（聖バルナバ助産師学院）

当院における緊急避妊ピル(EO)処方後の確実な避妊方法への移行支援

○森田雅美・城内いずみ・高崎理奈・橋上英子・谷口武（医療法人定生会 谷口病院）

飛び込み出産となった未成年妊産婦のケース報告

○金英仙・三田村七福子 [研究指導者：竹村秀雄・芳中シゲ子]
（医療法人竹村医学研究会 小阪産病院）